

2022 年 6 月 13 日

報道関係者各位

**第 8 回 ヨコハマ温暖化対策賞を受賞
-横浜工場の CO₂ 削減の取り組みが評価され、
2018 年に続き 2 度目の受賞-**

株式会社 J-オイルミルズ（東京都中央区、代表取締役社長:佐藤 達也 以下当社）は、主要生産拠点の横浜工場における CO₂ 削減の取り組みが認められ、横浜市より「第 8 回 ヨコハマ温暖化対策賞」を受賞しました。当社は 2018 年度に続き 2 回目の受賞です。

本賞は、横浜市地球温暖化対策計画書制度（※1）に基づき、同市が大幅な温室効果ガス排出量の削減など顕著な実績をあげた企業を表彰するものです。2022 年度は 2021 年度に報告書を提出した 310 事業者の中から、当社を含む 6 事業者が選ばれました。

■受賞理由

横浜工場は、食用油の精製、加工、充填包装などを行っています。2020 年度に老朽化したボイラー 3 台を高効率の新型ボイラー 2 台へ更新したほか、精製および充填包装について関係部署とこまめな調整に努め、より効率の良い生産計画への見直しを実施しました。さらに照明設備の LED 化や空調機の更新も進めました。こうしたエネルギー効率改善の取り組みにより、合計で CO₂ 排出量を 736 トン削減したことが評価されました。

主な取り組み	CO ₂ 削減量（2020 年度）
老朽化したボイラー 3 台を高効率の新型ボイラー 2 台へ更新	413 トン
効率の良い生産計画への見直し	296 トン
照明設備の LED 化	26 トン
空調機の更新	1 トン



横浜工場全景

株式会社 J-オイルミルズ

当社グループは SDGs（持続可能な開発目標）の目標達成に向けた取り組みを推進し、「環境負荷の抑制」をマテリアリティ（重要課題）の一つに位置付けています。今後も引き続きエネルギー利用効率化を推進し、食品メーカーの責務として、SDGs の 17 目標「12 つくる責任、つかう責任」「13 気候変動に具体的な対策を」の達成にも寄与してまいります。

（※1）横浜市内で一定規模以上の温室効果ガスを排出する事業者（地球温暖化対策事業者）に対して、地球温暖化対策計画の作成・公表、実施状況の報告を求める制度です。市がその内容を評価することなどにより、市内における温室効果ガスの排出抑制に向けた取り組みを計画的に進めることを目的としています。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kankyo-koen-gesui/ondanka/keikakusho/>

＜本件に関する報道関係者のお問い合わせ先＞

株式会社 J-オイルミルズ コーポレートコミュニケーション部 広報・IR グループ

TEL：03-5148-7103 E-mail：pr@j-oil.com